

ニッキン

2018年12月7日付 掲載

大阪シティ信金
POファイナンス実行
電子記録債権担保に

【大阪】大阪シティ信用金庫（大阪市、高橋知史理事長）は11月27日、西日本地区金融機関では初めて電子債権記録機関を運営するTransax（東京都）と提携し受発注債権担保融資「POファイナンス」でプロパー資金による第1号案件を実行した。「プロパー資金による融資は全

国でも初」（大阪シティ信金）という。POファイナンスは、売掛債権として確定する前の発注書を電子記録債権化することで、債権担保融資が可能となるスキーム。Transax社が特許を取得している。今回、ITサービスを提供する「NCS&A」（大阪市）が基幹システムの開発を発注した時点で電子記録債権が発生。受注したシステム開発会社に対して、電子記録債権を担保に同信金が資金を融資。同スキームではNCS&Aが代金の支払いを直接、同信金に振り込み、融資の元金回収に充当する。受注企業にとって、注文を受けた時点で資金調達が可能となる。

※ニッキンより引用